



2月と言えば…バレンタイン♡

日本では女性が男性にチョコレートを渡すイベントとして普及しましたが、最近では、日頃お世話になっている人に感謝を伝える日、という考え方も広まっているようです。せっかくなので、おいしいチョコをあげたりもらったり食べたり、楽しみたいですね。

というわけで、バレンタインにぴったりの本を紹介したいと思います♪

## 『チョコレートを食べたことがないカカオ農園の子どもにきみはチョコレートをあげるか?』

木下理仁(著)／旬報社

チョコレートはカカオから作られています!カカオはコートジボワールやガーナ等で作られています、彼らは一度もチョコレートを食べたことがないのです。もし、カカオの生産国を訪問した時あなたはどうしますか?



このことをはじめとし 筆者 木下理仁さんと様々な国民の意見も踏まえながら考えていきます!読めば読むほど面白いお話ばかりです!ぜひ読んでみてください!

## 『アーモンド入りチョコレートのワルツ』

森絵都(著)／角川文庫

『アーモンド入りチョコレートのワルツ』は「子供は眠る」、「彼女のアリア」、「アーモンド入りチョコレートのワルツ」の3つからなる短編集です。3つのお話はシューマン、バッハ、サティのピアノ曲の調べにのせて描かれる中学生が主人公の物語です。少し切ない、けれども心がきゅんとする。そんな物語を読んでみませんか?



## 『夜空に泳ぐチョコレートグラミー』

町田そのこ(著)／新潮社

閉塞感の漂う田舎町を舞台に、生きづらさを抱えながらも懸命に生きる人々を描いた5つの物語。思い通りにいかない人生に絶望しかけていた彼らが、誰かの放った温かい言葉や、チョコレートのような甘くてほろ苦い「他人の優しさ」に触れ、少しずつ前を向き始めます。読むと心が温まる希望の物語です。



\*書影の掲載は出版社の許可を得ています。



## ビブリオバトル チャンプ本

1学年は統一HR読書会でビブリオバトルを行いました。  
チャンプ本を展示していますので、ぜひ見に来てください。



## 県立図書館の本 企画展示 2025 年の受賞作

展示の本を一新しました！

1月から引き続き、2025年に受賞した本の特集です。  
文学作品にはいろいろな賞が数多くあります。  
1月とは別の受賞作を展示しています。

電子書籍を使ってみよう！

3年生も、3月31日  
まで使えます！

富山南高校には電子図書館があることを、覚えてますか？

本を読みたいけど、返すのが面倒  
だな～

借りるとき「こんな本読むの！？」って  
思われそうでやだな…

急にちょっと空き時間できてヒマ～

って、思ったことないですか？

電子書籍なら、思い立ったときに、誰にも知られずに、借りて読む  
ことができます。そして期限が来たら自動的に返却されます。

使い方は簡単！学校HPにリンクがあるのでクリック！

IDとパスワードを入力したらもう読み放題！

新しい本も増えているので、ぜひ使ってみてください。

使い方がわからない人は、遠慮なく図書館に聞きに来てくださいね♪

